北海道教育大学学術リポジトリ
Hokkaido University of Education Repository
国立大学法人 北海道教育大学
HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION

一歳児の心理学（I)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-11-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 藤友, 雄暉 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.32150/00002931

1歳児の心理学（Ⅰ）

藤　友　雄　暉

藤友（1980）は，両親による子どもの行動観察記録を資料として，一人の女児の0歳児期の心身の発達について考察を加えた．

本研究は，同一被験者について，1歳0か月～1歳3か月の必身の発達について，藤友（1980）と同一の方法により，考察を加えることを目的とする．

対象児は，1977年9月29日生，父32歳，母28歳，第一子長女．出生時体重3075 g，身長51 cm，胸囲31 cm，頭囲33.5 cm，体格は平均水準にある．出産予定日は10月12日であったが，正期産，正常分娩であった．

尚，（1・0・0）*は，1歳0か月0日を意味する．

⑿ 1歳0か月

1978年9月29日（1・0・0）*

1歳の誕生日，元気に動きまわっている．

今迄は，つかまり立ちをしてから手を離すといった形で立っていたが，今日は，座った状態からそのまま脚を拡げ気味に，何にもつかまらないで立ち上った．

9月30日（1・0・1）

夕食後、歩いた．左脚を前へ一歩，そして右脚を前へ一歩出して計二歩，歩いた．

10月1日（1・0・2）

父親が風呂に入っていると，真保は「パパ，パパ」と言いながら，浴室の戸を叩いた．中からも叩きながら「真保ちゃんなあに」と言うと喜んでいた．

10月2日（1・0・3）

1歳児健診を受けた．体重8.3 kg，身長74.5 cm，胸囲44.0 cm，保健所では，赤ちゃんが一杯だったためか緊張していた．9か月の男児が真保の手をつかんだり，顔を寄せてきたら，真保は体をそらして泣き出した．最近，手を振ってバイバイの動作をよくするようになった．例えば，朝，父親が鞄を持って「真保ちゃん出かけるよ」と言うと手を振る．

約2.5 m離れたソファーに座って，テレビの映像をおとなしく見ているといった状態が出てきた．

10月3日（1・0・4）
夕食後，ソファーで新聞を読んでいた父親の顔を，真保が横からなぐった．父親が冗談半分に恐い顔でにらみつけたら，泣き出してしまった．いつもと違う父親の様子に恐怖を感じたようだ．

10月4日（1・0・5）
高さ40cmの椅子にはい上り，その上に立って本箱の中に積んである10本のケース入録音テープを引っぱり出すことを好む．最後の1ケースまで引っぱり出し，椅子の上で遊んだり，床に落したりする．

10月5日（1・0・6）
今迄は，押車を押していて突き当ると「アーア」「マンマ」などと声を出して，方向転換してくれることを要求していたが，今日は一人で押車を両手で持ち上げたり，体全体を使って方向を少しずつ変えては進み，一人で遊んだ．

10月6日（1・0・7）
夕食後，母親が「なんだ」と言うと，真保も「なんだ，なんだ」と言いだした．音声模倣がかなり容易になってきたようだ．
玩具箱の中の玩具を椅子に上って落して遊ぶ．

10月7日（1・0・8）
何か興味をひく対象物へ移動する際に，途中につかまる物がない場合に良く歩く．
ベビーベッドを締めた状態にしていると，途中の桟に両足を掛け出ようとする．
何かを要求する時に，人差し指でさして「アーア」と声を発する．指差し行動の出現である．

10月8日（1・0・9）
3～5歩まで歩くようになった．
従来，床に落ちている物を指でつまみあげては口に運んでいたが，最近は「ママ，ママ」と言いながら，母親に差し出す．
食事の時，自分でスプーンを持ち，食べたがる．
玩具の電話で遊ぶ時，小さい声で「パパ」とか「ママ」とか言う．もとは声を出す時は，大きな声しか出せなかったが，普通の発声以下の小さな声も出せるようになっている．
スーパーマーケットの中で，真保を父親が抱いていると，いつも食べているヨーグルトの前で「アーアー」と声を発しながら体を乗り出して，手を伸して取ろうとする．多くの商品の中にあっても，自分が食べている商品を認知できる．

10月9日（1・0・10）
歩けるのが自分でも嬉しいらしく，倒れても倒れても立って歩こうとする．
かなり記憶力がついてきたのか，自分が気にいっている鉛筆が玩具棚の上段にあるのを知っているのか，捜して，それが見つかると，それをずっと持っていた．

10月10日（1・0・11）
座卓の上に台拭きがのっていると，拭く格好をする．母親がいつもやっていることを模倣している．
玩具の電話の電池の出し入れを好む．出すことは容易だが，2つきれいに入れることは難しい．また，フィルムが入っていたプラスチックの罐で遊ぶことを好む．ふたを外すことは容易だが，ふたをすることは難しい．
親子3人の夕食場面の録音テープを再生して聞いていると，真保は不思議そうな顔をしていたが，自分の泣き声を聞いて，同じように泣き出してしまった．びっくりしたのか，それとも泣き声に誘われたのか．

10月11日（1・0・12）
歩くのが好きなのか，尻もちをついては立ち上り，よたよた歩くの繰り返しをしている．
おくるみについているひよこのアップリケを差しながら「とっと」と言ってやると，「とーとー」などと何度も模倣していた．

10月12日（1・0・13）
昼近く，公園に連れて行ってもらい，ブランコに乗って遊んだ．帰る途中，隣の幼稚園児の女児と母親に会った．二人に抱かれても機嫌よく足をバタバタさせていた．

10月13日（1・0・14）
多い方を好む．梨は2切と4切の皿があると，4切の皿の方を欲しがる．ドーナツは小さい方を渡すと，投げすて大きい方を取ろうとする．

10月14日（1・0・15）
食事の時はテーブルの上の食べ物を指で差す．それを口の所に持って行ってやると良く食べる．
大きなキューピーの服を洗うために脱がせて，真保の服と靴をはかせようとすると，真保は自分の物をとられるとでも思ったのか泣き出し，手を伸し首を振りだめだめといった仕草をした．所有観念があるようだ．

10月15日（1・0・16）
初めて靴をはいて外に出た．母親の両手をしっかり握って歩く．母親が手を離そうとすると，真保の方から握ってくる．靴を玄関に置いていると，指を差して外へ連れて行くように要求する．
また，ブランコに一人で乗ることもできた．母親が後ろから衣服を持ち，揺らしても平気だった．
指を差して「なんだ」とよく言っている．それで色々と答えてあげてたら，汽車を「ポッポ」，玩具の犬を「ワンワン」とそれらしく発音することもある．質問期が生じている．

10月16日（1・0・17）
小学生の子ども達が来て，ぬいぐるみを使った遊びを良くしているためか，この2～3日ぬいぐるみを抱いては，体を上下に動かして喜んでいる．また，ひよこのオルゴールから流れる曲が気に入り，手に持っては聞いている．段ボールの中に入って遊ぶ．
食事中，スプーンを持って自分で食べようとするが，持ち方がちゃんとしていないために，口に

持っていく迄に食べ物が落ちてしまう．しかし，スプーンをなめ，またスプーンを食物の方へを繰り返す．また，靴も自分ではこうとするが，まだはけない．

10月17日（1・0・18）
ぬいぐるみを抱いては，頭をなでたり，鼻歌のような声を出したり，話かけたりして遊んでいる．
また，子ども達が来て一緒に遊んでいる時は，真保の動きも活発になるようだ．
ソファーからテレビまで約2.5ｍを歩く．
入浴時に，手おけを持って背のびをし，浴槽の中の湯をくみ出そうとする．

10月18日（1・0・19）
指差し反応を明確な形で頻繁にする．例えば，取って欲しい物を「アッアッ」と言いながら指差す．

10月20日（1・0・21）
鏡台の前で母親の膝に抱かれていた真保は，母親が髪を包むようにネッカチーフを結んでやると，鏡を見ながら外した．鏡に映っている自分を認識しているようだ．
従来は腕を上げることによって差していたが，最近は人差し指で差すようになってきた．指差し行動が完全な形態をとるようになっている．また，歩行も安定してきた．

10月21日（1・0・22）
「ウーウン」「タッタッ」とか言って話しかけてくることがある．喃語を伝達の手段として明確に用いるようになってきている．絵本の絵を指さしながら，命名しているような形で声を発することもある．

10月22日（1・0・23）
起き上りこぼしを抱いたり，母親のハンドバッグを腕にかけたりして歩いている．また，父親の野球帽を好む．自分がかぶったり，両親にかぶせたりする．
玩具のバケツの中に自分のカーデガンを入れて，押し洗いの格好をする．母親の仕草の模倣である．
在学生の母親がなくなったため，午後親子3人で焼香に出かけた．多勢の人が部屋の中に集って，雰囲気もいつもと違うためか，少しおびえ，泣き出しそうだった．

10月23日（1・0・24）
いやな時は首を激しく横に振って拒否を示す．例えば，おぶ紐を持ってくるといやな時は，首を激しく横に振り体を後にのけぞらせる．
公園の遊覧バス（遊具）に乗り，揺らされても平気だった．滑り台も一人で滑れた．遊具に対する恐怖感はない．

10月24日（1・0・25）
移動する際には，はいはいよりも歩くことが多くなってきた．また，外に行きたい時は，靴下のまま玄関の土間に降りてしまう．

10月25日（1・0・26）
鏡台の前でコットンを使い顔をパタパタとしたり，ほお紅の筆を顔につけたりなどの，母親の模倣をする．
入浴時に，浴槽に足をかけてのぼろうとした．

10月26日（1・0・27）
朝，母親が真保を散歩に連れ出した．戻って来た時，父親が「行って来たの」ときくと，真保は「いってきた」と答えた．構音能力がかなり身についてきた．便が出た時，母親が「でた」ときくと，「でた」と答えた．また鳥一般に対して「とっと」と言っている．
テレビからテーマ音楽が流れると，両手を胸の所に持っていきリズムをとる．
障子を破いたり，ストーブの柵をゆすったりする時には，母親の顔を見ながら行動に移す．母親が注意すると益々調子にのってやるが，相手にしないといつの間にか止めてしまう．自分の行動の効果をはかっている．

10月27日（1・0・28）
外に出るとしゃがんで土に触ったり，石や草をつかんで遊ぶ．特に石はつかむとなかなか離さない．外でも，手をとられずに一人で7～8歩，歩くことができる．また，ほうきを持って掃く格好をしたり，靴べらを持って，指揮者のように振ったりする．
引き出しの中から取り出した物を，一つずつ出す度に父親に渡しに来る．

10月28日（1・0・29）
父親が母親に対して「･･･ちよっと似てるね」と話していたら，母親に抱かれていた真保は「ちょっと」と言った．
玄関の土間で遊ぶことを好む．靴などを全部床の上にあげたり，ほうきやちり取りで遊んだりしている．

1歳0か月児は，歩行が開始され，安定して来る．椅子の上にはい上がる行動なども頻繁に見られるようになり，その様な少し高い所から物を落しては喜ぶといった行動も見られる．指差し行動に伴っての，「なんだ」と発声する質問行動も生じる．これは，物には名称が存在することを認識した結果だと思われる．行動模倣，言語模倣も顕著であり，構音能力の増大も著しい．ブランコ，滑り台，遊覧バスなどの固定遊具を使っての遊びも，一部可能となる．スプーンで食事をしようとしたり，靴をはこうとしたりなど，自分でしたいという強い欲求を持っている．また，自分の物だという所有観念も持っているようだ．

⑬ 1歳1か月

10月29日（1・1・0）
今まで少し恐がっていた大きなキューピーにも親しみを感じてきたらしく，洋服を脱がせようとしたり，抱いて歩いたりしている．他の2つの人形の洋服も脱がせようとして，できないと「ウッウッー」と声を出しながら指差して，やってくれることを要求する．

台所を好む．開き戸を開けようとしたり，袋などを出したり，引き出しの中の物を出したり，洗剤の入ったバケツのふたを取ったりしている．探索欲求が大である．

10月30日（1・1・1）
手袋を見つけた真保は「なんだ」と言って母親の前に突き出した．母親が「手袋よ」と言って手にはめさせてあげたら，大喜びで歩いていた．途中よだれ掛けが落ちているのを見つけて，手袋のままで拾った．

11月1日（1・1・3）
小学生の女の子3人が遊びに来て，白雪姫とシンデレラ姫をまぜた劇遊びをしていた．真保も姉妹姫の一人となってアクセサリーをつけ，バッグを持って後を歩いたり，「アッアッ」「ウッウッ」などと一緒におしゃべりしたり，ソファーの上で跳び上って踊ったりしていた．協同的遊びに参加している．

11月2日（1・1・4）
身体移動に際しては，はいはいをすることが無くなった．歩いて移動する．

11月3日（1・1・5）
ノートに鉛筆でなぐり書きをした．左右どちらも使った．鉛筆は親指と他の4本の指で掌に握りしめる．即ち，親指，人差し指，中指の3本で鉛筆をつまみ持つという形態はとらない．

11月4日（1・1・6）
母親，真保，小学生の女の子2人の計4人で，家の前の公園に行く．母親が家に帰ってしまっても，真保は平気で女の子達と遊んでいた．母子分離が一部で可能となっている．

11月5日（1・1・7）
父親の背中に隠れて「バ」と言いながらの，イナイイナイバー遊びを好む．
父親のウィスキーの水割用の氷を手に持ってなめていた．冷いのは平気のようだ．

11月6日（1・1・8）
朝，父親が出かけるためにワイシャツを着ていたら，手を振って「バイバイ」と言った．模倣ではなく，生成で適切な発話をした．

11月7日（1・1・9）
父親が立っていると，脚にまとわりついて両手を上げ，抱いてくれという仕草をする．また，茶碗を持ち歩き，御飯を手でつかんで食べることを好む．
大箱マッチの軸を全部出して遊ぶ．

11月8日（1・1・10）
両親が積み重ねた積木を手で払って，崩して「キヤッキヤッ」と言って喜ぶ．構成による遊びの段階はまだで，破壊による遊びの段階にある．

風呂で湯の入った2 kgの洗面器を，両手で持ち上げた．

11月9日（1・1・11）
夜，屋内用の滑り台を組み立ててやると，大喜びで遊び始めた．滑る部分を下から上にはい上って，上の部分に立つことができる．正常に座って滑るのは多少恐怖を感じるのか，脚でブレーキをかけてしまう．腹ばいで脚を下の方にして滑り降りるのが楽しいようだ．

11月10日（1・1・12）
滑り台の4段の階段を，上り降りすることができる．

11月13日（1・1・15）
夜，母親と玩具の電話で遊んでいた真保は，受話器に向って「まほちゃん」と2度言った．母親が言ったのを模倣したような感じだった．まだちょっと「まおちゃん」に聞こえる．

11月14日（1・1・16）
滑り台から靴下などを滑らせて喜ぶ．高い所から物を落しては喜ぶのと同じ心理機制によるのだろう．

11月15日（1・1・17）
離乳食が主となっているため，空腹になると台所の板ぶすまの所に立って，ふすまを叩きながら，「ママー」「アウワーアウワー」だとか声を出して，台所の中に入ることを要求する．

11月16日（1・1・18）
行きなれたスーパー形式の店は，比較的空いているので，真保は母親の側を離れ，好き勝手に歩きまわる．菓子コーナーで，自分の好きな菓子を手にする．
滑り台の階段をボールなどを手に持って上り，それを滑らせてその後自分が滑り降り，先に滑らせた物を手にして，再び階段の方にを繰り返す．一連の行動を反復する遊びが見られる．

11月17日（1・1・19）
風呂で父親が真保を洗ってあげていると，真保は手にしたタオルで父親の体をごしごしこすって，洗う動作をしていた．行動模倣が見られる．
ウエハウスを手にした真保は，それを父親の方へ差し出す．父親が「くれるの，ありがとう」と言いながら手を伸すと引っこめる．それを何度も繰り返して父親をからかって喜んでいる．

11月18日（1・1・20）
化粧品のチューブなどを持っていると，自分や母親のほっぺたに指でつける格好をする．母親が指で「ここにつけて」と示すと，真保もそこにつけてくれるので，「ありがとう」と頭を下げると，模倣して一緒に頭を下げる．

11月20日（1・1・22）
茶筒のふたを，はめたり外したりして遊ぶ．従来も，外すことはできたのだが，はめることはで

きなかった
滑り台で遊ぶ時，手を靴下の方へやりながら「ウッウッ」と言って脱がせてくれることを要求する．靴下をはいていると，滑ってうまく遊べないためである．その事に対する洞察ができている．

11月21日（1・1・23）
子ども達が遊びに来るといつも「アーアー」と大きな声を出し，にこにこしながら出迎える．
自分の体が少しでも隠れる所があると，直ぐにイナイイナイバーをする．発する言葉は「ばあ」のみである．

11月22日（1・1・24）
「3匹の子ぶた」「おふろ」などの絵本を読んで聞かせてあげると，おとなしく聞いて，何度もめくっては繰り返し聞く．

11月23日（1・1・25）
母乳はなかなか忘れられないらしく，昼間でもピンクの毛布を持って来て，母親の膝に座り，お乳を要求する．あげるが余り出ないので，あきらめて哺乳瓶のミルクを飲む．
母親が掃除器を使っていると，真保も一緒になってやりだした．余りよく吸うので，びっくりした様子だった．自分の手を何度も吸口の方に当てていた．

11月24日（1・1・26）
台所に置いてあるバケツのふたの上などに乗って，上にある物を取ろうとする．場を洞察した結果としての，課題解決のための道具の使用が見られる．
母親が庭の掃除をしていたら，真保も軍手をはめて，ほうきを手にし，落ち葉や草などをビニール袋に入れていた．とにかく，母親と同じことをしたがる．

11月25日（1・1・27）
水遊びに興味を示す．蛇口から流れる水を手で切るようにして遊んだり，せっけんを取ろうとしたりする．蛇口から流れる水が細いと，「もっと出して」と言う意味であろうか，「アッアッ」と言う．

11月26日（1・1・28）
早朝，8日振りに父親が出張から戻った．真保は父親の顔を見てけげんそうな顔をして，母親が真保を父親の方に押しやろうとすると，首を振っていやがり，泣きそうな顔をした．忘れてしまうようだ．それでも，午後にはすっかり元に戻って，父親の方に顔を振り向けては，キヤッキヤッ笑っていた．
両親と寿司屋に入った真保は，ビールが入ったコップをさかんに指で差す．母親がちょっとなめさせると，顔をしかめてしまった．やはり，にがく感じるようだ．
探索の場所が台所に移っている．さかんに食器棚の引き出しを，引っぱりだしたりしている．
自分で登った滑り台の階段を，そのまま後向きの姿勢で降りることができた．

11月27日（1・1・29）
箱の中に入るのが好きだ．洋服だんすを整理していると中に入って，中の物を全部出して遊ぶ．引き出しの中にも入ってしまう．これは，幼児一般の特性のようにも思えるが，成人にも，飲食店に入った場合など，なるべく隅の座席に座ろうとする行動などに，その特性の一部が残存しているように思われる．

11月28日（1・1・30）
インスタントコーヒーの瓶のふたを，左まわしにまわして開けることができた．また，食事の時は，指でつまんで食べる行動が主となっている．
父親が立っていると，側に歩いて来て，両手を上にあげて「アッ」と声を出し，抱き上げてくれることを要求する．

1歳1か月児は，身体移動に際しては，はいはいをすることが無くなり，歩いて移動する．また，滑り台の階段の上り降りも可能となる．そして，茶筒のふたを，はめたり外したり，インスタントコーヒーの瓶のふたをまわして開けるなど，指による小筋肉運動も活発になる．「パパ」「ママ」「なんだ」「バイバイ」などの生成発話も見られるが，「アッ」「アッアッ」「ウッウッ」と言った喃語を発しながら，動作で自分の意志を伝達することが多い．心理的な安全基地として密着していた母親から一部に分離が見られる．母親が居なくなった公園で，遊び仲間と遊んだり，スーパー形式の店で，一人で歩きまわったりする．行動模倣，探索反応も活発であり，これらにより生活様式を身につけていっている．協同的遊びの萌芽も見られる．

⑭ 1歳2か月

11月29日（1・2・0）
「げんこつ山のたぬきさん」の手遊びをしてあげると，真保は見ながら，2回目から体をゆすって模倣しようとする．おむつの交換をいやがる時も，この歌を歌うと機嫌がよくなりスムーズにできる．また，母親が歌を歌っていると，真保は母親の口もとを一所懸命見ている．止めると「アッアッ」と言って歌うことを要求する．

11月30日（1・2・1）
夕食時にビールと栓抜きが出てくると，栓を抜こうとする．父親が毎晩することを見おぼえたもの．

12月1日（1・2・2）
スプーンを使って，御飯を食べたり，液体を飲んだりする．御飯はまだ少ししか盛ることができない．液体はスプーンについたのをなめる感じだ．
以前は「ママ」「パパ」をどんな場面でもやたらと連発していたが，最近は余り言わないが，適切な場面で適切に使う．それだけ「ママ」が母親に，「パパ」が父親に定着してきたようだ．また，「アッ」とか「ウッ」とか言いながら，指差し行動を伴なって，自分の意志表示をする．理解言語も着実に発達している．「ママの所に行っておいで」と指差すと母の方へ行く．「ふたをしてちょ

うだい」と言うと，インスタントコーヒーの瓶の蓋をひろって，蓋をしようとする．

12月2日（1・2・3）

母親が，午後に40分くらい買物に出たが，その間，真保は泣き続けた．やはりまだ母親と離れることをいやがるようだ．

真保がパンを食べたそうにしている時，「パン」「パン」と尋ねると，真保は母親の口もとを見ながら，「パッ」「パン」と言った．

12月3日（1・2・4）

タンブラーグラスに入ったオレンジジュースを両手にかかえて，一人で飲むことができた．御飯を手づかみで食べていたが，鼻のわきについた米粒を手でさぐりとって食べた．これは，目で直接見れない米粒を知覚し，しかも手の運動をそれに伴なわせることができている．また，箸を用いて御飯を食べることもできた．箸でつかむということはできないが，箸を突っこんでそれに付着したのを食べていた．

12月4日（1・2・5）

真保は微熱があるため，この2～3日風呂に入れていない．父親が風呂に入っていると，戸を叩きながら「パパ」「パパ」と連呼する．

12月5日（1・2・6）

父親が出張で不在のため，夜，布団を一組だけ敷いたところ，急に玄関やトイレの戸を叩きながら「パパー」「パパー」と言いだした．父親や母親を捜す時には，最後の音を伸して言う．

夕食はライスグラタンだったが，一人で上手にスプーンにのせて食べていた．途中2回ほどスプーンにのった御飯を母親の口まで持っていった．また，荒みじん切りの玉ねぎと人参を手で選んで食べていた．指先の運動機能もかなり発達している．

12月6日（1・2・7）

朝，10：00～10：15に外に出してあげた．雪が降って来るのに気がついたらしく，両手を上の方にやり，雪をつかもうとしていた．

滑り台の上に立ち風船を飛ばす．母親がそれを受けて，真保の目の前に飛ばしてあげると，浮いている風船を両手でうまくつかめた．

12月7日（1・2・8）

防寒帽をかぶった父親を目をまるくして見ていた．普通とは違って感じるらしい．

こしょうの瓶の蓋を，回してあけることができた．

12月9日（1・2・10）

お碗に入った豆腐をスプーンで食べることができる．スプーンは掌と指で握る．

母親を追いかけることが目立つ．ちょっとでも視界を外れると追いかけて行くことが多い．

12月10日（1・2・11）
滑り台の滑る方から，右手に風船を持ち，左手をふすまにつきながら，足だけで立った姿勢のままで上まで登れた．従来は，四つんばいで登っていた．それだけ，足が文夫になり，高度の運動機能をそなえるようになったのであろう．

12月11日（1・2・12）
滑り台の滑る部分の一番下に積木箱があった．上から滑ろうとした真保は「アッアッ」と言いながら，どけて欲しいという動作をした．場面に対する見通しができている．
玩具箱の上に置いていた陶器製のパンダの下に行き，手を伸し欲しがるので与えた．すると遊んでいたのだが，あきたのか歩いて元の所に戻しに行った．元の所に戻しに行ったのは初めてのことだ．遊びあきた時に，その対象物に対する注意は消失し，放置されるのが従来までの状態であった．

12月12日（1・2・13）
父親がゴム風船をふくらませてやると，自分も同じ様にふくらまそうとしていた．とにかく，人のすることをよく見ていて模倣する．
父親の眼鏡に興味を持っている．膝の上にはい上って来ては，外して取ろうとする．掛けさせてみるとやはり眼が変に感じるのか，眼を細める．

12月13日（1・2・14）
おんぶをして台所仕事をしている時に，よく両手を横に上げて「バッバッ」と大きな声を発する．母親が一緒に声を出すと，何度も繰り返す．

12月14日（1・2・15）
午前11：00，テレビで「ロンパールーム」を見ていた．番組の中で風船で遊ぶコーナーがあるのだが，その時になると画面の風船を指差して，「アッアー」と言いながらさわろうとしていた．日頃自分が遊んでいる風船を画面の中に発見したためだろう．

12月16日（1・2・17）
夜7：00～8：00，市民会館大ホールにクリスマスコンサートを両親と一緒に聴きに行った．真保は別に騒ぐこともなく，リズムに合わせて体をゆすりながら聴いていた．やっとこの種の音楽会にも行けるまでに生長した．

12月17日（1・2・18）
母親が風呂に入り姿が見えなくなると，おくるみの毛布を引きずって歩きまわり，捜しながら泣き叫ぶ．まだ母親の姿が見えなくなると，不安を感じるようだ．

12月18日（1・2・19）
積木を箱から全部出し，自分でまたしまった．きっちり入っていて取り出せない時は，「アーアー」「ママ」と言って母親に助けを求める．
遊びに来た小学生の女の子3人と一緒に隠れんぼをした．母親が隠れても泣かずに鬼と一緒に

なって捜し，見つかるとニコッと笑う．

12月20日（1・2・21）
テレビの「お母さんと一緒」の中のゴロンタ音頭のじゃんけんの振りの模倣なのか，両手を後にやり，腰を曲げる動作をする．また，テレビでかけっこや早いテンポで動きまわる場面になると，笑って見ていることがある．

12月21日（1・2・22）
父親の防寒帽を頭にかぶり，鏡台の所に歩いて行って，鏡に映った自分を見て笑っていた．意図的に鏡を使用することができる．
コップや湯のみを両手で持って飲むのが上手になった．

12月22日（1・2・23）
御飯やスープなどを，スプーンで食べる量がふえた．左右の手を同じ割合くらいで使っている．
みかんの外皮も一人で完全にむけるようになった．また，積木を2～3個，縦に積むことができるようになったが，うまくいかなかったり，倒れたりすると泣きそうになって，かんしゃくを起す．とにかく，手の運動機能の発達が著しい．
居間で父親が真保の首に人形の形をしたバッグを掛けて，「ママに見せておいで」と言うと，台所に居た母親の所に見せに行った．言語理解がかなり進んでいる．
父親の写真を持ち「パパ」と指差していた．ハンカチを見つけると，ノートに写真を置き，ハンカチできれいに拭き，ノートを閉じる動作を2～3回くり返していた．これは，父親がアルバム整理をする際にやっている動作の模倣である．何でもないことでもよく観察しておぼえていて模倣する様だ．

12月23日（1・2・24）
指がよく動くようになってきている．腕を振るのではなく，指の屈伸だけによるバイバイをする．
父親が真保にパズルボックスを買って来た．興味を持って遊ぶが，まだうまく穴の中に落すことはできない．
母親が父親のすぐ横に座ったりすると，「アーアー」と声を出す．母親を取られたような気になるのか，それともその逆なのか，とにかく，そんな気持も持つようになっている．

12月24日（1・2・25）
夕食の時，真保は手にしていた骨つき肉を遠くに投げたために，母親から「だめですよ」と叱られた．母親の顔をじっと見ていたが，泣きだした．叱られるということが理解できるようになって来ている．母親が叱りながら言うことを一所懸命に聞きながら，理解しょうと努めている様だ．

12月25日（1・2・26）
夕食後，ベレー帽を頭の上にのせては，何度もサイドボードのガラス戸の所に行き，自分の姿を映しては喜んでいた．

12月26日（1・2・27）
小学生の女の子が2人，男の子が1人の計3人が遊びに来た．母親が台所で仕事をしていると，6畳の部屋で皆んなとお店やさんごっこをしていたが，時々台所に母親が居るかどうかを確かめに来るのか，ちよっと覗いては，直ぐに6畳に戻る行動をくり返していた．母親との分離が可能となる過程としての姿が見られる．

12月27日（1・2・28）
ゴム風船で両親とキャッチボールをすることを好む．投げる時も，受ける時も両手を使う．上手に受けることも時々できる．

12月28日（1・2・29）
食事の時など総てを一人ですることを主張する．母親が容器などに手をそえようとすると，怒って手で払いのける．自分でしたいという欲求を持っている．
液体をスプーンで飲むことを好んでいるが，今日は，乳酸飲料の容器を手に持ち，飲んでは残っている量を見ての繰り返しをしながら，最後まで飲んだ．自分の行動とその結果の因果関係をつかんでいるようだ．

1歳2か月児は，手の運動機能の分化発達が著しく，スプーンや箸の使用が可能となり，みかんの皮をむいたり，積木を2～3個縦に積んだりできるようになる．生成言語の語彙数の増加は見られないが，その使用は適切度を増大する．理解言語は，指差したりすることなく，単に「ママに見せておいで」と言っただけで，別の部屋の母親の所に見せに行くなど，その発達は著しい．行動模倣も活発で，かなり複雑な動作も突然やってみせたりする．母親からの分離は，まだ一進一退の状態にあるが，何事も自分でやりたいという強い欲求を持っている．鏡やガラス戸に自分の姿を映して見る場面も多く見られ，この様なことからも，自意識が強くなっていることがうかがわれる．

⒂ 1歳3か月

12月29日（1・3・0）
物を投げる時，「バッ」と言うような掛け声を同時に発する．言語の行動調整機能が身についてきている．
掃除をしている母親の後をついてまわる．これは，ひな鳥が親鳥の後を追う追従行動と同種のものなのかも知れない．

12月30日（1・3・1）
ソファーに座っている父親の所にやって来た真保は，左足を上げて父親の方に突きだした．手で触って見てあげると，御飯つぶが足の裏に付いていた．足の裏のことも知覚できている．同様に手に何か付いた時も，取って欲しいという仕草をしたり，ズボンの部分でこすったりしている．

12月31日（1・3・2）
言語理解能力が向上している．滑り台を滑る部分の方から登ろうとする真保に「靴下を脱がなく

ちゃ」と言うと，座りこんで足を上げて「アッ」と言って，靴下を脱がせてくれることを要求する．また，ソファーに座っていた父親が，小皿の黒豆を食べてしまった真保を見て，「ママからもらっておいで」と言うと，真保は，皿を持って台所の母の所に行き，「アッアッ」と言って黒豆を要求した．「アッ」と言う喃語と動作で要求を伝達している．母親が風呂に入っている時などは，母親を求めて，「チャチャー」という意味不明のことをよく言いながら泣き叫んでいる．

1979年1月1日（1・3・3）
夕方5：00過ぎに，羽田からの飛行機で祖母が来訪した．真保は，最初は泣いていたが，間もなく慣れた．

1月2日（1・3・4）
口の中で舌を動かして，何か食べているような真似をしていることがある．

1月3日（1・3・5）
おまるを使って大便をした．大便が出る時は，「ウーウン」と言いながら，まっ赤な顔をして泣き出しそうになる．
はずみ車で動くひよこの玩具ピッキーモーに興味を持つ．動く後を追ったり，親などに動かしてくれることを求める．

1月4日（1・3・6）
午後，祖母と一緒に散歩に出た．真保は，手をつながずに一人で歩くことを好み，小石などを拾ったりしていた．

1月5日（1・3・7）
夜5：00～9：30卒業生の男性二人が来訪した．泣きたいのをがまんしながら，じっと見ていたが，真保は最後まで一回も泣かずに過した．生じてくる不安などを，ある程度制御できるようになって来ている．

1月6日（1・3・8）
母親の妹が来訪して来た．最初はやはり，慣れず，叔母が近づくと真保は泣いたが，間もなく慣れた．

1月7日（1・3・9）
デパートで，硬貨を投入すると動く車に乗せた．真保は動いた瞬間，緊張した表情をしていたが，直ぐに横のパトロールカーを見たり，遊んでいる子ども達を見たり，ハンドルを回そうとしたりして，動くのを楽しんでいた．少し大きめの乗り物やロケットは恐いらしく腰掛けようとはしなかった．

1月8日（1・3・10）
朝，祖母が洗面所で入れ歯を洗っているのを見た真保は，自分の歯を取ろうとして，口の中に手を突っこみ，祖母がした様に歯を取ろうとする動作を模倣した．取ったり，入れたりするのが不

思議らしく，しばらくじっと見ていた．

1月9日（1・3・11）
祖母と叔母が帰京した．真保は大人4人に囲まれた生活で，いつもより感情の起伏が激しく，興奮していたようだった．

1月10日（1・3・12）
手遊び「ももたろうさん」が気に入ったらしく，両手を差し出しては，やることを要求する．相手と手を合わせることはまだできないので，自分の両手を叩き，歌が終るとまた両手を差し出してくる．

1月11日（1・3・13）
ま後ろに歩いて遊ぶ．足をばたばた踏みならしながら後退する．歩くこと自体が遊びとなっている．

1月12日（1・3・14）
1月に入り，おまるを使用する練習を始めていたが，出たくなると知らせるようになっている．今日も，脱がせてみると，まだおむつが濡れていなかったので，おまるに座らせ，「シーシー」と言いながら，動かない様に体を押さえ，頑張らせていたところ少したって出た．出た瞬間，真保は驚き泣きそうになったが，母親の喜びの声が大きかったために泣きだしてしまった．少したって落着いてから，おまるの中を覗きこんだりして，事の重大さを真保なりに感じとったようだ．トイレット・トレーニングの開始により，おむつの中にしていた排泄を，おまるの中にするようになって行く過程である．これは，母子がおむつから解放される過程でもある．

1月14日（1・3・16）
夜，母親が真保に画用紙と鉛筆を与えた．掻画を描いていた真保は，間もなく画用紙を両手に持ち，二つに破いてしまった．そして破った小さい方の紙片をまるめ，屑かごに捨てた．屑かごを意図的に用いたのは初めてのことだ．また，母親がゴロンタ音頭を歌ってあげると，真保はテレビの所に行き，つけてくれることを要求した．この歌とテレビが明確に結びついている．その他にも，押入れにビスケットなどの菓子罐があることを知っていて，欲しい時は指差して「アーアー」と言って騒ぐ．この様に，種々の面で知的発達がみられる．

1月15日（1・3・17）
朝，母親が「ワンワン」と言うと，真保も「ワンワン」と言った．構音能力が伸びて来たようだ．父親と風呂に入ったが，タオル代りのガーゼで自分の体をこすっていた．

1月16日（1・3・18）
朝，母親が「ある日，森の中，熊さんに出会った…」と歌ってあげると，両足をばたばたさせて踊った．リズム感を持っている．
夜，母親がトランプを出してやると大喜びで，「バッバッ」と言いながら，両手で上にほうり上げていた．

数が沢山あるのがいいのかも知れない．また，母親が布団を敷いている時など，押入れの上の段に上げてもらうことを好む．

1月17日（1・3・19）
お店屋さんごっこを遊びに来た子ども達がすると，真保はお客の役をする．お金を持たせるとレストランに行き，お金を渡し，作ってくれた積木のプリンなどを食べる真似をする．遊びの内容も少し理解してきたらしく，勝手な動きが見られなくなり，母親や子ども達の問いかけをよく聞いている．協同的遊びが，受身ながらできている．

1月18日（1・3・20）
ごっこ遊びを好む．真保が持っているグラスに洋酒をつぐ真似をしてやると，飲む真似をする．逆に，父親や母親にグラスを持たせては，洋酒をつぐ真似をする．また，鏡台の鏡の前などで，「バーバー」とか言いながら，一人で踊りながら遊んでいることもある．

1月19日（1・3・21）
夜，母親が凍結防止のため，水道の水を抜く．蛇口が3つと，ガス湯わかし器3か所から水を出しっぱなしにした状態で元栓を締める．水抜きが始まると直ぐ父親の所にかけて来て，抱いてもらって，それを見るのを喜ぶ．噴水のように水がでるさまが面白いようだ．

1月20日（1・3・22）
おまるの使用法が分かってきたのか，母親が「シーシー」と言うと座るようになった．自分で出たくなると自発的に座る行動も出てきたが，なかなか成功しない．時々おむつのあたりを手でおさえていると，母親が「シーシー」と尋ねるのが嬉しいらしく，ふざけてやることもある．

1月21日（1・3・23）
朝食後，母親が食卓を片付け始めると，真保も食卓と台所の間を往復して，食器を下げるのを手伝った．模倣によって手伝いが可能となっている．
ビニール製のボールを，足で2～3回蹴っていた．蹴っているのを見たのは初めてだ．

1月22日（1・3・24）
夜，父親がテレビの音をイヤホーンで聴いていると，真保がやって来て，イヤホーンをねだり，自分の耳にあてる．音が聞こえたものだから，最初はびっくりしていたが，その後は，「オーオー」と言って喜んでいた．

1月23日（1・3・25）
昼近く，小学生の女の子2人，男の子1人の計3人が，秋田犬の子犬を連れて遊びに来た．真保は子犬を見るなり「ワンワン」と言った．犬が「ワンワン」とほえた時は，少し驚いていたが，抱かれた状態でかなり近くまで寄っても恐がらずに，パンを投げ与えた．
母親が風呂に入ると，いつも泣く真保だが，今日は父親とのトランプ遊びで気がまぎれたのか泣かなかった．

1月24日（1・3・26）
夜，テレビで馬が土の上をころがって遊ぶ場面を見た真保は，自分も同じようにじゅうたんの上でころがっていた．

1月25日（1・3・27）
機械類に興味を持っている．はずみ車で動く玩具ピッキーモーを裏返しにして，はずみ車が動くのを見て喜ぶ．また目覚し時計の裏のネジの部分を手でいじって遊ぶ．
ヘアーピンを眉毛の所にあててしようとする．自分の目より上の部分についての位置感覚が定かではないために，髪の毛につけるつもりで，眉毛にあてているのかも知れない．
スリッパが裏返しになっていると必ず直す．あるべき姿，あるべき状態，恒常性に対する好みがあるようだ．

1月26日（1・3・28）
カラスが「クァークァー」と鳴くのを聞いて，真保も「クァークァー」と言った．かなり微妙な所まで音声模倣する．
テレビに映ったアザラシを見て，真保は，「ワンワン」と言った．勿論アザラシの実物を見たことはなく，そのため犬と似ているので「ワンワン」と言ったのか，それとも，犬だと思って「ワンワン」と言ったのか，どちらであるのかは決めがたい．しかし，「ワンワン」という自分が所持している語彙を汎用したと考えるのが，無理のない所であろう．

1月27日（1・3・29）
外を通る犬を見て「ワンワン」と言った．この語彙は習得したと考えていいようだ．

1月28日（1・3・30）
貯金箱の上の口から，シャツのボタンを入れると，下から出て来るのを喜んで何度もくり返す．
鼻水が出ているので，ちり紙を渡すと，真保は自分で鼻水を拭きとり，母親にその紙を渡す．
食事中に少しでもこぼしたり，手が汚れると「ママ」「アッア」と言って拭いてもらうまで待っている．
クレヨンと画用紙を与えてみた．真保は描くことよりも，クレヨンの紙をはがしたり，爪でクレヨンを引っかいて色をつけたり，母親や父親の手につけたり，積木，紙などにつけて遊ぶ．滑り台で転がしても遊んだ．クレヨンは描くためのものであるといった，大人の設定した枠組で接するのではなく，自分の興味のままに対象と接している．

1歳3か月児は，運動機能では，ビニール製のボールを足で蹴る動作が出現する．またリズミカルに体を動かして踊ったりもする．手遊びも好む．生成言語は，「ワンワン」を犬に対して使用できるようになっている．理解言語の発達は更に進み，音声模倣もかなり微妙な所まで可能となる．種々の面で知的発達は顕著であり，機械類に興味を持つ．ごっこ遊びを好み，受身ながら協同的遊びができる．トイレット・トレーニングが開始され，おまるを使用し始めている．

文　献

藤友雄暉　「0歳児の心理学」　351－383頁　北海道教育大学紀要（第一部C）　第30巻　第2号　1980年
（本学助教授・函館分校）